

風邪・インフルエンザ

所属 _____

氏名 _____

高齢者に多い疾患－風邪・インフルエンザ
問題 1 正しいのはどれ？

- ①風邪の症状には、咳、咽頭痛、鼻水、鼻づまり、発熱、倦怠感、頭痛などがある。
- ②風邪は、ウイルスによって引き起こされる。
- ③高齢者の場合、風邪から肺炎になることは少ない。
- ④風邪を治す薬がある。

MEMO

高齢者に多い疾患－風邪・インフルエンザ
問題2 正しいのはどれ？

- ①インフルエンザと風邪は同じである。
- ②インフルエンザの予防法の一つとして、
ワクチン接種がある。
- ③インフルエンザ発症後3～7日間は、他者への
感染の恐れが高いため外出を控える方がよい。
- ④筋肉痛や関節痛は、インフルエンザの症状にはみ
られない。

MEMO

高齢者に多い疾患－風邪・インフルエンザ
問題3 誤りはどれ？

- ①インフルエンザが流行する時期には、できる限り人ごみや繁華街などへの外出を避ける。
- ②インフルエンザのような症状が出たら、受診はせず、まずは自宅で安静に過ごす。
- ③室内では加湿器を使用して、乾燥を防ぐことも、インフルエンザの予防には大切である。
- ④インフルエンザと診断されたら、他の人と交流を避け、安静にしている。

MEMO

高齢者に多い疾患－風邪・インフルエンザ

問題4 誤りはどれ？

- ①風邪やインフルエンザに罹りやすい方は、免疫力が弱っている場合が多い。
- ②腸内環境を改善することで免疫力の向上が期待できる。
- ③腸内環境が悪化している方は、下痢、便秘、ガスがよく出る、お腹がはるなどの症状があるが、腸内の善玉菌の割合が増加している場合がある。
- ④免疫力を高めるためには、腸内環境をよくするために食物繊維を多く食べることが重要である。

MEMO

高齢者に多い疾患－風邪・インフルエンザ
問題5 誤りはどれ？

- ①風邪を治す薬は開発されていない。
- ②風邪に伴う諸症状を緩和する薬はある。
- ③風邪に伴う咽頭炎の炎症を緩和させるために抗生物質が処方されることもある。
- ④インフルエンザを治すための薬は開発されていない。

MEMO

高齢者に多い疾患-風邪・インフルエンザ
問題6 事例問題

介護施設に入居中のBさん（86歳、男性、要介護3）が今朝から元気がなく、朝食も半分程度しか食べられなかった。9時の体温は、37.8℃。平熱は36℃前半。11時に再検してみると38.2℃と上昇しており、咳と鼻水がある。のども痛くて少しつらくなってきたとのこと。
ここ数日、他の入居利用者の風邪が流行している。看護師にも報告はしている。この後、介護職員としてどう対応するか？

MEMO
